

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 7月28日更新

事務事業名		人権擁護委員との連携事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	森田 健二
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	田村 沙也香
	施策の柱	43	人権尊重についての理解と相談体制の充実			所属班	啓発教育班	(内線)	5333
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 8	事業連番 10901	根拠法令		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	人権擁護委員法に基づく法務大臣が委嘱する、人権擁護委員の活動が円滑に行われるよう支援する事業。2町合併により人権擁護委員の数も増え、より多くの情報交換が可能となった。
【業務の流れ】	人権擁護委員候補者の選定事務(任期は3年)、議会への上程、議決後法務局に推薦。特設人権相談所(年2回)の開設に伴う擁護委員との日程及び場所の調整と決定
【主な予算費目】	報償費
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	特設人権相談所の準備、市広報への「人権よもやま話」掲載、委員の任期満了に伴う候補者の選定に係る事務を行った。また、人権擁護委員との意見交換会を開催し、各委員の仕事をサポートした。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
特設人権相談所の開設数 2回 人権よもやま話の掲載 4回 令和2年度活動実績 特設人権相談所の開設数 2回 人権よもやま話の掲載 4回		人権擁護委員候補者の選定に係る事務。特設人権相談所の開設に伴う擁護委員との日程及び場所の調整と決定。 人権擁護委員による記事「人権よもやま話」を広報に掲載する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 → ア: 特設人権相談開催回数 イ:	予算の主な増減の理由 退任委員へ感謝状の贈呈をしており、退任委員の人数減による報償費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	人権擁護委員・職員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 回 → ア: 人権擁護委員と連絡調整をした回数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	人権擁護委員と職員が連携することで、人権擁護委員のより充実した活動を進める。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 → ア: 人権相談のあった件数 イ:
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
人権擁護委員のより充実した活動として捉えることができる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込
① 活動指標	ア	回	4	2	2	2	2	2	2	2
	イ									
② 対象指標	ア	回	10	5	10	5	10	10	10	10
	イ									
③ 成果指標	ア	件	0	2	4	3	4	4	4	4
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円		3	6	5	3	3	3
		(A) 事業費計	千円	0	3	6	0	5	3	3
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	4	3	4	4	4
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	180	180	180	200	180	180	0	
	(B) 人件費計	千円	713	709	717	782	717	717	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	713	712	723	782	722	720	3	

事務事業名	人権擁護委員との連携事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	---------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 特設人権相談所の開設や、人権よもやま話の広報掲載等を通じて、人権擁護委員の啓発活動が充実したものとなるよう連携を進めていく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後よりいっそうの人権擁護委員との連携を図り、市民の人権意識の高揚を図り、住みよいまちづくりをしていかなければならない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 21年度から削減しており、これ以上の削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在のやり方が効率的であり、これ以上の削減は出来ない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 人権擁護委員の活動は、地域住民の人権尊重の意識向上や福祉につながることを目的としており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が人権擁護委員と連携を深めて啓発を推進していかなければならない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

特設人権相談所の開設や広報誌に「人権よもやま話」を掲載したりなど人権擁護委員と連携し、啓発活動を行なうことができた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						